

## 令和6年度（寒川高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	公務外であれ教育公務員としての自覚を忘れず、県民からの信頼を損なわない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事防止啓発資料を活用し、法令遵守等の意識を喚起するとともに、教育公務員としての倫理意識を高めた。</li> <li>・公務外非行の事例を挙げ、他人事ではなく自分事としてとらえることにより、非行防止に努めた。</li> <li>・「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」を年度当初の校長面談で職員一人ひとりに確認することにより、周知、徹底に努めた。</li> </ul>
職場のハラスメントの防止	人権意識を高めるとともに、パワハラ、セクハラ、マタハラをはじめとする職場内でのハラスメントを防止することにより人間関係の悪化を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が一人で悩み抱え込むことがないよう、相互に気遣いのできる職場環境づくりを全職員が心がけた。</li> <li>・管理職による個別面談を実施し、ハラスメントや不祥事の未然に防ぐことができた。</li> </ul>
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒との適切な距離感の認識をもち、わいせつ・セクハラ行為を根絶する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールやSNS、LINEなどを利用した生徒との連絡は絶対に行わないよう、不祥事防止研修等で周知、徹底できた。</li> <li>・わいせつ・セクハラ行為の防止のため相互に注意しあえる関係の構築を図った。</li> <li>・教職員全員を対象に不祥事防止研修を実施し、わいせつ・セクハラ行為を防止できた。</li> </ul>
体罰、不適切な指導の防止	高い人権意識をもって、部活動や教科指導等での体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体罰によらない指導に努め、教職員の相互チェック体制を整えた。</li> <li>・不祥事防止啓発資料を活用し、不適切な指導を防止できた。</li> </ul>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る不祥事防止	入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成および送付にかかる不祥事を絶対に起こさない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルに基づいた行動の徹底を図り、情報共有や相互チェック体制を構築した。</li> <li>・成績処理において全職員での一斉点検を実施し、不祥事の未然防止ができた。</li> <li>・調査書や提出資料等の点検を複数名で行うとともに、管理職による点検を徹底した。</li> </ul>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流失及び携帯電話、電子メール、SNSの不適切使用を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の持ち出しや登録について、届け出の徹底を図った。</li> <li>・教務手帳など重要個人情報については鍵付きロッカーを利用した管理を徹底した。</li> <li>・不祥事防止職員啓発点検資料を活用し、電子データの取扱いや電子メールの適切な利用について周知できた。</li> </ul>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私生活においても、公務員としての自覚を持った行動を促した。</li> <li>・朝の打合せや不祥事防止研修において、飲酒運転の根絶、法令遵守を周知し、不祥事ゼロを達成できた。</li> </ul>

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制、業務の精選による多忙化の解消・集中力の維持）	業務執行体制を確保し、共有と協力を進め、事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務上必要な情報共有を行い、お互いに漏れやミスがないか点検できる体制づくりに努めた。</li> <li>緊急時や繁忙期に、グループや教科の枠を超えて協力できる体制を今後も継続して整えていく。</li> </ul>
財務事務等の適正執行	適切で公正な予算編成と執行に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「私費会計事務処理の手引き」に基づいた会計処理に努めた。</li> <li>半期ごとに私費会計簿の定期点検を実施し、適切な会計処理に努めた。</li> <li>購入物品の現物確認を徹底し、不正な購入がないことを確認した。</li> <li>物品管理者を中心に備品の現物照合を行った。</li> </ul>
保護者等への適正対応（「一人ひとりが県の顔～より良い県民応対のために～（総務局総務室）」の再確認）	保護者等との連携を深め、トラブルを未然に防止する。	・保護者等との連絡を密にして、生徒が抱える問題や課題を共有しながら、早期対応、早期解決に努めた。
政治的中立性の厳守	教育公務員として、政治的中立性を自覚し、不適切な行動を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通知文や啓発資料に基づき、朝の打合せや職員会議で呼びかけ、不適切な行動の未然防止に向けて注意喚起を行った。</li> </ul>
職員の不祥事防止の意識の醸成	「神奈川県教育委員会令和6年度不祥事防止取組方針」に基づき、不祥事防止に関する意識の醸成を図り、不祥事ゼロを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の遂行に当たって、職員への声掛けや年度当初の校長面談等で、不祥事防止に関する知識と意識の向上を図った。</li> <li>初任者や臨時の任用職員を対象にわいせつ事案の根絶に向けた不祥事防止研修を実施した。</li> <li>不祥事防止職員啓発・点検資料を活用しながら全教職員を対象とした不祥事防止研修を定期的に行なった。</li> </ul>
教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律に係る対応	法律の趣旨に沿った対応の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>不祥事防止職員啓発・点検資料や研修用映像資料を活用し、同法の趣旨や内容の周知を図り、性暴力についての認識を深めた。</li> </ul>

## ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

今年度も、職員間の同僚性を向上させ、情報共有を行いながら不祥事ゼロに向けて取り組んだ。不祥事防止研修に加え、朝の打合せやTeamsを活用しながら、繰り返し注意喚起をして不祥事ゼロを図ってきた。生徒に対する指導では丁寧で配慮の行き届いた指導体制により、体罰と不適切な指導ゼロを目指した。また、多忙なスケジュールの中での複数回に及ぶ入学者選抜においても、適切に業務が遂行する力を組織的に発揮できた。

比較的風通しの良い職場であるが、次年度も職員の入れ替わりが多く、若い職員集団であるため、教職員としての崇高な使命を背負っていることを自覚し、業務マニュアルの見直しや業務執行体制の整備や情報共有を行いながら、同僚性による相互チェック体制を発揮し、不祥事ゼロに取り組んでいく。個人情報等管理・情報セキュリティ対策にも継続して取り組んでいきたい。